

# 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## I 部門別の事業活動概要

### 公益目的事業

#### 1 沿岸漁場整備開発促進事業

##### (1) 受託事業

###### ①水産環境整備事業漁場利用状況調査業務（県沿岸漁業振興課）

県内各所の一本釣漁業者に人工魚礁を記載した調査野帳を配付し、操業場所、漁獲される魚種、漁獲量等を記録してもらい、その記録を取りまとめ、人工魚礁の利用状況調査を行った。

○標本船36隻による野帳記入・データとりまとめ

###### ②種苗放流による資源造成支援事業

【(公社)全国豊かな海づくり推進協会を事務局とした日本海中西部海域栽培漁業推進協議会で実施】

日本海中西部海域（石川、福井、京都、兵庫、鳥取、島根、山口県を対象）の関係県で連携して、放流種苗の生残率の向上と、効率的な資源維持増大を図る目的で、放流効果の調査を行った。

###### ③出雲市外園町海岸におけるオキアサリ等の貝類調査（株式会社テクノシステムから受託）

当該地域における貝類増殖のため、令和4年7月から8月にかけて出雲市外園町の海岸に標識を付けて放流した浜田産オキアサリについて、放流した貝の生存状況と標識が残っているかを確認した。

また、当該種はもともと少数ではあるが沿岸に生息していたため、放流した貝以外の貝類の生息状況も確認した。

	手 法	結 果
沿岸調査	水深 1m以内の海底をジョレンで 30 分間引く（1回）。	採捕したオキアサリ 656 個のうち、放流貝が 2 個見つかった。 令和 4 年度放流貝の混獲率は 2.79%、回収率は 0.09%であった。
潜水調査	10m～100m 沖までの範囲内に 1m×1m のコドラートを設置し、小型ジョレンで生物を採捕。	放流貝は、見つからなかった。
放流貝調査	30 cm開口の貝桁を沖から岸に向かって 65m引く（2回）。 1m×1m のコドラートを設置し、小型ジョレンで生物を採捕。	放流貝は、見つからなかった。
市場調査	J F しまね大社支所市場において、外園町周辺海域で漁獲されたオキアサリを買い取り、前年度に付けた目印のある貝が混獲されているかどうか調べた。	目印の付いた貝は、いなかった。

④漁業の担い手対策関連業務【新規】

○漁業者フェアにおける島根県での漁業就業を希望する来訪者との相談対応

- ・漁業就業者支援フェア 2023 福岡(R5. 7. 8) 相談者数 5名
- ・漁業就業者支援フェア 2023 東京(R5. 7. 17) 相談者数 6名
- ・漁業就業者支援フェア 2023 大阪(R5. 7. 22) 相談者数 9名 合計相談者 20名

○無料職業紹介事業許可を取得（厚生労働大臣 R5. 11. 1）

(2) 直営調査

⑤磯焼け対策調査事業

潜水によって、海藻を食害する生物（ウニ等）の密度低減調査などを行い、藻場の回復状況の長期的な観察を行い、食害生物除去の効果把握や効率的な手法確立のための知見を得た。

○調査地域：松江市美保関町北浦、加賀、大芦、出雲市十六島

○内容：ウニ等の食害生物除去、岩盤表面の付着物除去、身入り改善試験

(3) 助成事業

水産振興助成事業実施規程に基づき公募を行い、選考委員会において審査した結果、下記の団体を対象として助成することとした。

助成先と助成対象事業	事業名	助成金額
船川水源対策協議会	シジミ幼生の採集と再放流事業	500,000 円
五十猛ワカメ会	サザエの母貝放流事業	39,654 円
特定非営利活動法人アンダンテ 21	高津川 森・川・海自然塾事業	367,500 円

## 2 中間育成・放流事業

(1) 中間育成・放流

令和5年に策定された島根県第8次栽培漁業基本計画に基づき、県下6地域の水産振興部会と連携しながら、マダイ稚魚の中間育成及び放流、ヒラメ稚魚放流、また、新たにキジハタ稚魚放流を実施し、積極的に資源の回復、漁業生産の増大を図った。

事業費は、全国豊かな海づくり推進協会補助金、県単強い水産業づくり交付金、地元負担金、栽培漁業推進ファンドの運用益を元にしており、補助金や運用益の減少などにより厳しい財政状況ではあるが、事業の効率化を図りながら実施した。

① ヒラメ放流

令和5年5月に50mmのヒラメ30万尾を県内16か所（出雲東部3か所、出雲西部3か所、石見東部5か所、石見西部5か所）において放流した。

【ヒラメの放流結果】

実施部会	放流	
	数量・サイズ (平均)	地域
出雲東部	44.6 千尾、72 mm	松江市
出雲西部	36.5 千尾、66 mm	出雲市
石見東部	89.2 千尾、67 mm	大田市
石見西部	129.7 千尾、67 mm	浜田市、江津市、益田市
合計数量	300 千尾、—	—

ヒラメの中間育成事業の廃止に伴い、今年度より栽培漁業センターからの直接放流を行った。トラックを使用しての輸送・放流であったが、放流種苗30万尾を衰弱させることなく輸送・放流できた。

② マダイ中間育成・放流

令和5年7月に35mmのマダイ65万尾を、西ノ島町と松江市の中間育成施設へ搬入・育成し、県内14か所（隠岐諸島8か所、出雲東部6か所）において8月から9月にかけて放流した。

【マダイの中間育成・放流結果】

実施部会	中間育成		放流		歩留り
	数量・サイズ (平均)	場所	数量・サイズ (平均)	地域	
隠岐島前	300 千尾、35 mm	西ノ島町	287.1 千尾、81 mm	西ノ島町 海士町、知夫村	95%
隠岐島後	250 千尾、35 mm	西ノ島町	239.3 千尾、80 mm	西ノ島町 (※)	95%
出雲東部	100 千尾、35 mm	松江市	90 千尾、88 mm	松江市	90%
合計数量	650 千尾、—	—	616.4 千尾、—	—	94%

※隠岐島後部会の放流場所については、船での輸送による斃死リスクを避けるため、令和3年度の部会総会にて西ノ島町で放流することが決定していたため、今年度も西ノ島町で放流を行った。

③ キジハタ放流【新規】

令和5年10月に、100mmのキジハタ3.3万尾を、県内13か所（隠岐島前1か所、出雲東部3か所、出雲西部2か所、石見東部4か所、石見西部3か所）において放流した。

【キジハタの放流結果】

実施部会	放流	
	数量・サイズ (平均)	地域
隠岐島前	3,450 尾、100 mm	西ノ島町
出雲東部	6,300 尾、100 mm	松江市
出雲西部	5,250 尾、100 mm	出雲市
石見東部	9,600 尾、100 mm	大田市
石見西部	8,400 尾、100 mm	江津市・益田市
合計数量	33,000 尾、—	—

(2) 放流効果調査（集計期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

マダイ、ヒラメについての放流効果調査を、西ノ島町、浜田市、大田市でそれぞれ行った。

調査では、市場に水揚げされたマダイ・ヒラメの全長を測定し、天然魚と放流魚を区別するために鼻孔連結の有無や無眼側の黒化を確認して混獲率を算出した。

大田市和江・浜田市原井におけるマダイ、ヒラメの調査については、水産技術センターが行い、データを共有している。

【市場調査結果】

魚種	調査場所	調査内容				混獲率 (%)	混獲率 補正 (%)
		漁法	調査回数 (回)	調査尾数 (尾)	標識魚 (尾)		
マダイ	西ノ島町・浦郷	定置網・刺網・ 一本釣	46	1,432	46	3.2	6.7
	浜田市・原井	沖合底引き網	6	1,083	9	0.8	1.5
	大田市・和江	小型底引き網	2	1,026	2	0.2	0.5
ヒラメ	浜田市・原井	沖合底引き網	5	317	16	5.0	10.2
	大田市・和江	小型底引き網	4	519	3	0.6	1.4

(3) 栽培漁業のPR活動

例年、漁業関係者が地先海域の資源を管理しながら増やしていくため、積極的な活動を行っている。また、栽培漁業の重要性を一般の方々に広く知ってもらえるよう、県内各地で小学生や保育園児等を対象に稚魚の体験放流事業を実施している。

令和5年度は島前地区でのマダイ体験放流と、出雲西部地区、石見西部地区でのヒラメ体験放流を実施した。

【ヒラメ・マダイ体験放流の状況（開催回数9回、合計参加人数243名）】

魚種	部会名	開催日	放流場所	参加者
マダイ	隠岐島前	9月1日	西ノ島町 美田湾	西ノ島小学校 15名
		9月4日	知夫村 来居港	知夫小学校 21名
		9月5日	海士町 日ノ津港	福井小学校 10名 海士小学校 4名
ヒラメ	出雲西部	5月24日	出雲市 きづき海浜公園	大社小学校 50名
	石見東部	5月15日	大田市 温泉津湾	温泉津保育所 17名
			大田市 仁摩漁港	久利保育園 11名 仁摩小学校 24名
			大田市 五十猛漁港	五十猛小学校 12名
	5月16日	大田市 波根海水浴場	朝波小学校 14名	
		大田市 久手漁港	久手小学校 65名	

【イベント参加】

開催地	開催日	イベント名	内容
西ノ島町	11月3日	産業文化祭 ギョギョギョ魚フェスタ	マダイ稚魚・パネル展示 マダイ体験放流

### 3 種苗供給事業

会員の要望に基づき、栽培漁業の推進及び養殖漁業に必要な種苗の斡旋・配布を実施した。

【配付結果】

種苗名	規格	数量	供給団体数
アカアマダイ	全長 70 mm	4,000 尾	2 団体
キジハタ	全長 80 mm	21,500 尾	2 団体
キジハタ	全長 100 mm	21,100 尾	3 団体
カサゴ	全長 100 mm	22,900 尾	1 団体
クエ	全長 130 mm	9,310 尾	3 団体
マナマコ	体長 10 mm	177,000 個	3 団体
アカウニ	殻径 20 mm	43,000 個	4 団体
クロアワビ	殻長 30~70 mm	140,532 個	10 団体
メガイアワビ	殻長 30~49 mm	5,500 個	2 団体
イワガキ	採苗器 1 枚に 10 個以上付着	101,900 枚	34 団体
コンブ	1 枠 50m	1 枠	1 団体
鳴門ワカメ	1 枠 17m	30 枠	4 団体

#### 4 栽培漁業センター事業（県受託事業）

##### （1）業務の概要

- ①作り育てる漁業（栽培漁業）を推進するための健苗性の高い放流用種苗及び養殖用種苗を生産し、生産した種苗の出荷・引き渡しを速やかに実施した。
- ②放流用種苗の中間育成技術指導を行い、健苗性、疾病の有無、成長状況についての確認や技術指導を行なった。
- ③種苗生産施設や機器、調査船、公用車の適切な維持管理を行うとともに、島根県の行う水質環境等の調査に協力した。

##### 【主な業務日程】

業務名	期間	場所
ヒラメ種苗生産開始	令和5年 1月14日	栽培漁業センター
ヒラメ種苗出荷	5月8日～26日	松江市・出雲市・大田市 江津市・浜田市・益田市
マダイ種苗生産開始	5月22日～23日	栽培漁業センター
イワガキ種苗生産開始	5月16日	栽培漁業センター
マダイ種苗出荷	7月11日～7月24日	西ノ島町・松江市
マダイ中間育成指導	7月～9月	西ノ島町
イワガキ種苗出荷	7月11日～随時	松江市・隠岐4町村

##### （2）放流・養殖用種苗の生産に関する業務及び出荷業務

###### ① ヒラメ種苗生産

###### 受託内容

平均50mm種苗を30万尾生産する。

###### 結果

令和5年1月上旬に種苗生産を開始し計画通り順調に生産を実施した。

飼育水槽数の縮小及び例年より設定水温を下げることで燃料費の抑制に努めた。

今年度から、採卵から放流までを一貫してセンターで行うようになり、ヒラメの育成期間とマダイ生産が重なるので、使用水槽等の工面に苦勞した。

出荷前検査としてシェードモナス症とクドア症の検査（水産技術センター内水面浅海部に依頼、PCR法を用い検査）をそれぞれ1回ずつ行い、どちらも陰性を確認した。

島根県職員による4回の検査を受けたのち引き渡しを終了した。

【種苗出荷尾数】

出荷先	石見西部部会 (浜田市 益田市・江津市)	石見東部部会 (大田市)	出雲西部部会 (出雲市)	出雲東部部会 (松江市)	合計
出荷日	5月9日、12日	5月15日 16日、19日	5月24日	5月26日	—
出荷尾数	129,700尾	89,200尾	36,500尾	44,600尾	300,000尾

【シュードモナス・クドア検査結果】

検査日	50 t 水槽	100 t 水槽
4月24日	陰性	陰性

【無眼側黒化の出現割合】

正常魚	軽度	中度	重度
57.4%	38.2%	4.4%	0%

② マダイ種苗生産

受託内容

平均35mmを65万尾生産する。

結果

令和5年5月中旬より生産を開始した。生産初期には放流前ヒラメ育成も並行して行っていたため飼育水量を心配していたが、疾病等も無く計画通り順調に生産を実施した。

省力化、経費削減の為に飼育水槽の数を減らし、海上への沖出しを早めた。

生産初期の稚魚の大量斃死防止対策や鰹形成期の奇形防止対策を講じた結果、今年度の生産でも大量斃死は発生せず、目立った奇形も確認できなかった。以上のことから、健苗性の高い種苗が出来たと考える。

島根県職員による7回の検査を受けた後引き渡しを終了した。

【種苗出荷尾数】

出荷先	隠岐島前部会 (西ノ島町)	出雲東部部会 (松江市)	合計
出荷日	7月11日～12日、20日	7月19日、7月21日	—
出荷尾数	550,000尾	100,000尾	650,000尾

### ③ イワガキ種苗生産

#### 受託内容

コレクター1枚当たり種苗10個以上付着のコレクターを11万枚生産する。

#### 結果

今年度は1回次生産を5月16日に開始し、6月19日に沖出しを行った。2回次の生産は、6月28日に開始し、8月1日に沖出しを行った。

陸上飼育において、1回次、2回次生産共に浮遊幼生のコレクターへの付着が良好だった。

夏場の海上飼育での食害対策として、塩水浴を徹底したことで海上飼育の歩留まりが向上し、2回の種苗生産で要望枚数を達成する事ができた。また、出荷作業も12月中に全て終わることができた。

#### 【イワガキ生産状況】

生産回次	沖出し枚数	A規格生産枚数
1回次（5月16日生産開始）	57,497枚	52,700枚
2回次（6月28日生産開始）	62,160枚	51,200枚
合計	119,658枚	103,900枚

今年度の生産者要望枚数：A規格101,900枚

追加要望を含めた最終出荷枚数：A規格換算で104,775枚

#### (3) 施設等の維持管理に関する業務

種苗生産業務に影響を及ぼさないように、建物・設備及び外構等の性能が常時適切な状態に保たれるように維持管理を行った。

今年度もボイラーや熱交換器等の機械設備で老朽化による故障や不調が発生しており、その都度修繕を実施した。今後も主要機器の故障が予測されるため、計画的な修繕工事や更新が必要である。

#### 【施設の維持管理状況】

項目	内容
種苗生産施設（上屋・水槽等）	<ul style="list-style-type: none"><li>点検、清掃等施設の日常管理。</li><li>県沿岸漁業振興課に施設の老朽化等の状況報告。</li></ul>
機器の保守点検と修繕	<ul style="list-style-type: none"><li>故障機器の修繕工事。</li><li>機器の維持管理。</li><li>資格や専門技術を必要とする電気工作物、ボイラー等については、専門業者に委託して保守点検を実施。</li></ul>
調査船、公用車の維持管理	<ul style="list-style-type: none"><li>日常点検、法定検査や部品交換等を実施。</li></ul>

その他設備の更新（計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワムシ棟ボイラー1台更新</li> <li>・自家発電用給油タンクの更新</li> <li>・海水ろ過機及び取水ポンプ制御盤タッチパネルの更新</li> <li>・高圧洗浄機3台の更新</li> <li>・取水ポンプインバータの更新</li> </ul>
--------------	---

## 5 ワカメ種苗生産事業試験（直営事業）【新規】

県水産技術センター浅海科からフリー配偶体を譲り受け、旧イワガキ棟にて1 tパンライト水槽5基を使用し種苗生産を行った。

### 結果

1回次は、9月20日に冷却器を用いて早期採苗を開始した。2回次は、10月5日に開始し、1回次、2回次ともに10月27日に仮沖出しを行った。

1回次の付着が不調であったため、3回次を10月12日に開始し、11月7日に仮沖出しを行った。

2、3回次は順調に生育し、生産者へ配布した。（西ノ島70枠、海士60枠、美保関5枠）。

### 【ワカメ生産状況】

生産回次	生産枠数
1回次（9月20日生産開始）	40枠
2回次（10月5日生産開始）	120枠
3回次（10月12日生産開始）	40枠
合計	200枠

## II 種苗生産に係る課題等

### 1 種苗生産について

種別	課題	対策
ヒラメ	無眼側黒化の低減	・ 生物餌料の栄養強化の見直し。
	親魚の確保	・ 近年の高水温による親魚の斃死を防ぐため、換水率の増加等飼育環境を改善する。 ・ より良い親魚を確保する。
マダイ	ワムシ安定培養	・ 新たな培養方法の導入。
	共食いの防止	・ 早期分槽により飼育密度を低くする。 ・ 早朝、夕方に自動給餌器を有効活用する。
	省力化、経費削減	・ 今年度と同様に水槽数を減らす。
イワガキ	種苗生産の安定化	・ 海上飼育での塩水浴の対応で歩留まりの向上を図る。 ・ 夏場の高水温対策として、飼育室内にエアコン設置する。

### Ⅲ 法人の運営管理

#### 1 会議開催の状況

会議内容、開催日、場所	審 議 内 容
第86回理事会 令和5年6月2日（金） 松江エクセルホテル東急	第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算承認の件 第2号議案 役員選任の件 第3号議案 規程制定の件 第4号議案 第36回通常総会付議事項の件 報告事項 令和4年度事業報告の件 令和5年度事業計画及び収支予算の件 基本財産運用方法の件
第36回総会 令和5年6月28日（水） ホテル白鳥	第1号議案 令和4年度収支決算承認の件 第2号議案 令和5年度会費承認の件 第3号議案 役員選任の件 報告事項 令和4年度事業報告の件 令和5年度事業計画及び収支予算の件 基本財産運用方法の件
第87回理事会 令和5年6月28日（水） ホテル白鳥	第1号議案 会長1名、専務理事1名の互選の件
第88回理事会 令和5年12月12日（火） 松江エクセルホテル東急	第1号議案 収支変動準備資金の計画期間変更の件 報告事項 業務執行状況報告 そ の 他 県から協会への説明 『栽培漁業の推進に向けた事業スキームの見直しについて』 第三者調査委員会の中間報告について
第89回理事会 令和6年2月7日（水） 松江エクセルホテル東急	第1号議案 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 報告事項 令和6年度の会議予定 令和6年度の会費について 基本財産運用方法について

## 2 外部会議等への参加状況

開催月日	会議名	開催場所
6月29日	島根県水難救済会総会第24回通常総会	松江市
9月17日	第42回全国豊かな海づくり大会	北海道厚岸町
9月19日	西日本種苗生産機関連絡協議会（介類分科会）	愛媛県
9月22日	日本海中西部海域栽培漁業推進協議会・令和5度通常総会	東京都（WEB出席）
10月4日 ～6日	ワムシ培養基礎研修会	西ノ島町
10月10日	西日本種苗生産機関連絡協議会（魚類分科会）	宮崎県
10月26日	第37回11府県水産公益法人担当者会議	兵庫県
10月31日 11月1日	日本海栽培漁業センター所長連絡会議 日本海栽培漁業センター研究連絡会議	福井県
11月2日	農林漁業団体人権同和対策推進担当者等啓発研修会	松江市
11月30日 31日	増養殖関係研究開発推進会議 魚介類生産技術部会 二枚貝類分科会	神戸市
1月25日	西日本種苗生産機関場長会議	熊本市

## 3 研修等の実施状況

開催月日	会議名	開催場所
7月7日	ハラスメント防止研修	松江市
11月21日	ハラスメント防止研修	西ノ島町